

張愛玲文学作品における上海語研究(7)

—『傾城の恋』を中心に—(その2)

吉田陽子

『傾城の恋』について(第163-177頁)

I 動詞

頁-行	下線の語彙—上海語の動詞等 ローマ字—上海語の発音	説明 (文章の翻訳)、(共通語)
163頁-15行 (以下「163-15」 と略す)	“……上海人自然是喜欢上海人，所以同乡的小姐们在那边听说是很受欢迎。六小姐去了，还愁没有相当的人？真可以抓起一把来 <u>拣拣</u> 。” 拣(gāe)	(上海人は当然ながら上海人のことが好きなので、同郷の小姐たちはあちら(香港を指す—筆者)でもとても人気があるようだ。六小姐が行けば、適する相手が居ないと悩む必要がないであろう。好きに選べられるに違いない。) 拣:選ぶ。「拣拣」は動詞の重ね型の用法。拣拣=〈挑选挑选〉
163-15、16	众人觉得徐太太真是善于辞令。前两天轰轰烈烈闹着 <u>做媒</u> ，忽然烟消火灭了，自己不得下场，便姑作遁辞，说两句风凉话。 做媒(zūmé) 烟消火灭(yìxiàohūmǐk)	(みんなは徐太太が本当に言葉遣いが巧みであると思った。数日前には盛んに媒酌をすると騒いでいたが、急に火が消えたようになり、引っ込みがつかなくなったので、暫く避けようとして、無責任な言いぐさをする。) 做媒:媒酌の労をとる。做媒=〈当媒人〉 烟消火灭:煙火のように消え失せる。 烟消火灭=〈烟消云散〉
163-19	她估计着徐太太当初自告奋勇替她 <u>做媒</u> ，想必倒是一时仗义，真心同情她的。 做媒(zūmé)	(彼女は徐太太が当初進んで難しい自分の媒酌の労を取ってくれたのは、一時の義理立てであったとしても、本心で自分のことを同情してくれたものと思っていた。) 做媒:媒酌の労をとる。(前掲「163-15、16」に同じ)
164-13、14	如果赌赢了，她可以得到众人虎视眈眈的目的物范柳原， <u>出净</u> 她胸中这一口气。 出气(cèkqī)	(もし賭けに勝ったら、自分はみんなが虎視眈々して狙っているターゲットの范柳原を得ることができれば、この胸の憂さを晴らし尽すことができる。) 出气:鬱憤を晴らす。《出净 cèkjhín》は結果補語を附加した用法。 出净这一口气=〈出尽这一口气〉
165-1	……大家总得留个见面的余地， <u>不犯着</u> 得罪她。 犯(váe)	(…みんなは、今後会うことのできるような余地を残したかったので、彼女の機嫌を損うことには及ばなかった。) 不犯着:~するには及ばない。 《勿犯着 vèkváezhék》もよく使われている。

		不犯着 = 〈犯不着〉
166-6~8	流苏想不到他这样直爽，倒不便深究，只怕说穿了，不是徐太太请她上香港而是他请的，自己反而下不落台，因此只当他说玩话，向他笑了一笑。 下不落台 = 下勿落台 (hóvèk lökdháe)	(流蘇は彼がこんなに爽快な性格だとは思わなかったの、深く追究しないことにした。ただ心配しているのは、自分が香港に来たのは、徐太太の招きではなく、彼の招きによるものだとはっきり話してしまったら、自分が却ってひっこみがつかぬことになってしまう。そこで、彼の話をも冗談として、ちょっと笑っておくことだけにした。) 下不落台: 引っ込みがつかぬこと。可能補語を附加した用法。下不落台 = 〈下不了台〉
166-13	柳原倚着窗台，伸出一双手来 <u>撑</u> 在窗格子上，…… 撑(càn)	(柳原は窓枠によりかかって、両手を出してきて窓の格子を支えて、…) 撑: 支える。撑在 = 〈支撑在〉
166-19~167-1	他敲了一敲一百三十一号的门，徐太太开门放他们进来道：“在我们这边 <u>吃</u> 茶罢，我们有个起坐间。”便 <u>揷</u> 铃叫了几客茶点。 吃(qík) 揷铃(qīn)	(彼が 131 号室のドアを軽くすると、徐太太は彼らを部屋に入れ、「私たちの部屋でお茶を飲みましょう。こちらにはリビングルームがあるから」と言って、ベルを鳴らし、お茶菓子を数品頼んだ。) 《吃茶 qíkzhó》: お茶を飲む。吃茶 = 〈喝茶〉 《揷铃 qīnlín》: ベルを鳴らす。揷铃 = 〈按铃〉
167-2、3	徐太太道：“你真有兴致，晕了几天的船，还不趁早 <u>歇歇</u> ？” 歇(xīe)	(徐太太は、「あなたは実に面白い子ね。何日間も船酔いしたので、早く休んだほうが良いわ」と言った。) 歇: 休む。「歇歇」は動詞の重ね型の用法。歇歇 = 〈休息休息〉
168-4、5	柳原笑道：“怎么又颠倒过来了？越发把人家 <u>搅</u> 糊涂了！” 搅(gháo)	(柳原は、「なんでまた逆さに受け取るのか。余計わけが分からなくなった」と笑って言った。) 搅: する; 行う。搅糊涂 = 〈搞糊涂〉
168-17、18	她穿着金鱼黄紧身长衣，盖住了手，只露出金亮的指甲，领口 <u>挖</u> 成极狭的 V 形，直开到腰际，那是巴黎最新的款式，…… 挖(wak)	(彼女は橙色のロングタイトを着て、手まで覆いかぶせているが、きらきらと光っている指のつめだけ出しており、襟元は、ウエストまでかなり狭く V 字カットされている。それはパリの最新のスタイルである。…) 挖: 襟元をカットすること。《挖成 wakzhén》は結果補語を附加した用法。挖成 = 〈裁剪成〉 《金鱼黄 jìn gn ghuán》: 橙色。
168-18、19	她的脸色黄而油润，像 <u>飞</u> 了金的观音菩萨。 飞(fī)	(彼女の顔色は黄くつややかで、金のメッキが剥けている観音菩薩のようだった。) 飞: なくなる。飞了金 = 〈掉了金〉
169-6、7	柳原扶着流苏继续往外走，流苏虽然听不大懂英文， <u>鉴貌辨色</u> ，也就明白了，便笑道：…… 鉴貌辨色(jiān máo biān sè)	(柳原は流蘇に手をかしてとんどん外へ歩いていった。流蘇はあまり英語が分からないが、相手の表情を察したら理解ができて、笑いながら「…」と言った。) 鉴貌辨色: 相手の表情や気持ちを察するのが得

		意。鉴貌辨色＝〈察言观色〉
169-10	他们上了车，柳原又道：“你别看她架子搭得十足。……” 搭(dak)	(彼らが車に乗ると、柳原はまた、「彼女をととも見栄張りだとは思わないでね。…」と言った。 搭架子 dakgāzī): 見栄をはる。《搭得十足 dak dekzhèkzok》は様態補語を附加した用法。 搭架子＝〈摆架子〉
169-16、17	流苏撇了撇嘴道：“也许因为她的名字太长了，一口气念不完。” 撇(pik)	(流蘇は口をちよつときゅつとゆがめて、「彼女の名前が長すぎるせいで、一気に読めないかもしれない」と言った。) 撇：口をきゅつとゆがめる。《撇了撇》は動詞の重ね型の用法。撇嘴＝〈努嘴〉
170-2	到了浅水湾，他搀着她下车，…… 搀(càe)	(浅水湾に着くと、彼は彼女に車から降りるのに手をかした。…) 搀：手をかす。搀＝〈扶〉
170-4、5	一蓬蓬一蓬蓬的小花，窟在参天大树上，壁栗剥落燃烧着，…… 窟(wù)	(一塊り毎に茂っている可愛い花は、天に届くほど高く聳えたっている大木の上に生えていて、パチパチと燃えているようであった。…) 窟：暖める; 生える。窟在＝生在 《蓬 pón》: よく茂っている一塊りの小さな花などの助数詞。一蓬蓬一蓬蓬＝〈一簇一簇〉 《壁栗剥落 bik lik bok lök》: パチパチ。擬声語。壁栗剥落＝〈劈里啪啦〉
170-13、14	……有一天，我们的文明整个的毁掉了，什么都完了——烧完了，炸完了，坍完了，也许还剩下这堵墙。 坍(tài)	(…ある日か、私たちのすべての文明が壊滅し、全て失い—焼け尽き、爆破され、崩れ倒れても、ただこの一並びの塼だけが残るかも知れない。) 坍：崩れ倒れる。坍＝〈倒塌〉
170-16	流苏嚷道：“你自己承认你爱装假，可别拉扯上我！你几时捉出我说谎来看？” 捉出(zokcek)	(流蘇は、「ご自身が見栄張りだということを認めて、私を巻き添えにしないで下さい。いつか私が嘘つきだと見つけ出して下さい」と叫んで言った。) 捉出：見つけ出す。方向補語を附加した用法。 捉出＝找出 《几时 jīzhí》: いつ; いつか。几时＝〈什么时候〉
170-18、19	流苏叹道：“若是像你这样自由自在的人，也要怨命，像我这样的人，早就该上吊了。” 上吊(zhándiāo)	(流蘇は、「もしあなたのような勝手気ままな人間でも運命を恨めば、私のような人間はとつくに首吊り自殺をしたわよ」とため息をついて言った。) 上吊：首吊り自殺。上吊＝〈上吊自杀〉
172-13、14	他们在餐室外面的走廊上拣了个桌子坐下。石阑干外生着高大的棕榈树，…… 拣(gāe) 生(sàn)	(彼らはレストランの外の廊下で、一つのテーブルを選んで腰掛けた。石の欄干の外側には高く大きな棕櫚の木が生えている。…) 拣：選ぶ。(前掲「163-15」に同じ) 生：生える。生着＝〈长着〉

173-8、9	杯里的残茶向一边倾过来，绿色的茶叶黏在玻璃上，横斜有致，迎着光，看上去像一棵翠生生的芭蕉。 黏(nì)	(コップの中に残っているお茶は片方に傾いてきて、緑色のお茶葉がガラスに付着し、斜めとなってなかなか趣があり、光に照らされて、翡翠色をしている一本の芭蕉の木のようにみえる。) 黏：付着する。黏在 = 〈沾在〉
175-12	萨黑蕙妮被他搀着，却是够狼狈的，…… 搀(cān)	(サヘイニ ¹ は彼に支えられてはいるが、ひどく狼狽していた。…) 搀：支える。搀 = 〈扶〉
175-18	她也靠着阑干，远远的拣了个桌子坐下，…… 拣(gān)	(彼女も欄干を背もたれにして、離れたところからテーブルを選んで腰掛けた。…) 拣：選ぶ。(前掲「163-15」に同じ)
176-9、10	她早不同他好，晚不同他好，偏拣这个当口和他好了，白牺牲了她自己，他一定不承情，只道她中了他的计。 拣(gān)	(彼女は、早くも遅くもなく、この潮時を選んで彼の気持ちを受け入れれば、自分を無駄に犠牲するだけであろう。彼はきっとありがたく思わず、ただ彼女が自分の計略にかかったと思うだけであろう。) 拣：選ぶ。(前掲「163-15」に同じ)
176-19	谁知才搁上去，又是铃声大作。 搁(gō)	(受話器を置いたら、またベルの音が大きくなるうとは誰が思っただろう。) 搁：置く。《搁上去 gōzhàngō》は方向補語を附加した用法。搁上去 = 〈放上去〉
177-4、5	柳原不耐烦道：“知道你不懂，你若懂，也用不着我讲！我念你听：……” 讲(gān)	(柳原は面倒くさそうに、「君は分からないだろう。分かっているならば、言う必要もないよ！読んで聞かせるよ…」と言った。) 讲：話す。讲 = 〈说〉
177-14	流苏不等他说完，拍的一声把耳机攞下了，脸气得通红。 攞(ghuáe)	(流蘇は彼が言い終わらないうちに、バーンと受話器を放り出して、顔が真っ赤になるまで立腹した。) 攞：放り出す。《攞下 ghuáehhó》は方向補語を附加した用法。攞下 = 〈摔下〉

II 動詞以外の品詞

164-1、2	但是出盘缠带她到香港去，那可是所费不费。 盘缠(bhéuzhéu)	(しかし、旅費を出して彼女を香港まで連れて行くには、高すぎるよ。) 盘缠：名詞。旅費。盘缠 = 〈旅費〉
164-2、3	为什么徐太太平空的要在她身上花这些钱?世上的好人虽多，可没有多少傻子愿意在银钱上做好人。 平空(bhínkòn)	(なぜ徐太太が理由もなく彼女の為にこんな沢山の金を費やす必要があるのだろうか。世の中には善人は多いけど、金銭において善人ぶりを見せたいばかりはそう多くないであろう。) 平空：理由もなく。副詞の用法。平空 = 〈平白无故〉

¹ 香港で亡命生活を送っている印度王室の王女。

165-10	流苏疲于奔命，也就不去看 <u>野眼</u> 。 野眼(yá gnáe)	(流蘇は奔命に疲れているので、よそ見しないことにした。) 野眼：名詞。よそ見。看野眼＝〈看别处〉
165-11	上了岸，叫了两部汽车到浅水湾饭店。 部(bhú)	(岸に上がってから、浅水湾ホテルまで車 2 台を呼んだ。) 部：車を数える助数詞。部＝〈辆〉
166-9、10	仆欧拿钥匙开了门，流苏一进门便不由的向窗口 <u>毕直</u> 走过去。 毕直(bikzhāk)	(ボーイが鍵でドアを開けると、流蘇はドアに入ったら、思わず直ちにまっすぐ窓の方へ歩いて行った。) 毕直：副詞。真っすぐ。毕直＝〈笔直〉
166-11	柳原向仆欧道：“箱子就放在 <u>榭跟前</u> 。” 跟前(gènxhí)	(柳原はボーイに、「トランクは箆笥の前に置いてくれ」と言った。) 跟前：方位詞。～の前。跟前＝〈前面〉
167-10	然而那天晚上，香港饭店里为他们接风一班人，都是 <u>成双捉对</u> 的老爷太太； 成双捉对(zhénsànzokdē)	(しかし、その晩、香港ホテルにおいて彼らの為の歓迎会を催したメンバーは、すべて夫婦となっている旦那様と奥様であった。) 成双捉对：熟語。ペアとなっている。 成双捉对＝〈成双成对〉
167-8、9	时间 <u>横竖</u> 还早，路上散步的人多着呢——没关系。 横竖(hhānsī)	(どうせ時間がまだ早い。道で散歩している人が多いので、大丈夫だ。) 横竖：副詞。どうせ。横竖＝〈反正〉
168-12、13	柳原扶着她回到座上，向众人笑道：“白小姐有些头痛，我先送她回去罢。”流苏没提防他有这一 <u>着</u> ，一时想不起怎样对付，又不愿意得罪了他，…… 一着(yikzào)	(柳原は彼女を支えながら席に戻り、皆さんに、「白さんは少し頭が痛いので、先に送って来ます」と笑って言った。流蘇は彼がこの手を使うと思わなくて、とっさにどのように対応したら良いかを思いつかず、その上、彼の機嫌を損ねたくなかった。…) 着：策；方法。この場合の「着 zhèk」は「zào」と発音される。動量詞の用法。一着＝一招
171-14	柳原格格的笑了起来。他换了一副声调，笑道：…… 声调(sèndhiáo)	(柳原はけらけらと笑い出した。彼は口ぶりを変えて笑いながら、「…」と言った。) 声调：名詞。口ぶり。一副声调＝一副腔调
174-2	流苏道：“我又不是你肚里的 <u>蛔虫</u> 。” 蛔虫(hhuáezhón)	(流蘇は「私はあなたのお腹の中の回虫でもないんだ」と言った。) 上海人がよく使う俗語。転じて、相手が考えていることを知るはずもないことを表す。 蛔虫：名詞。回虫。普通、「我勿是你肚皮里的蛔虫」という否定形に使われる。
176-4、5	柳原笑道：“我看你从今以后不是 <u>预备</u> 待我好一点。” 预备(yhúbhé)	(柳原は、「これから僕に少し優しくしてくれた方が良いと思う」と笑って言った。) 预备：助動詞。～するつもり。预备＝〈准备〉

176-8、9	他使她吃醋，无非是用的激将法，逼着她自动的投到他怀里去。 激将法(jīkjiàngfak)	(彼が彼女に嫉妬させれば、彼女がけしかけられて、仕方なく、自ら進んで彼の胸に飛び込むのであろう。) 激将法：けしかけ方。
---------	--	---

【参考資料】

- 榎本英雄／范晓 著『エクスプレス上海語』(白水社)1996年4月5日第6刷
 阮恒輝 著『上海話教程』上海辞書出版社、2014年8月
 錢乃榮 編著『上海話大詞典』上海辞書出版社、2008年4月第5版
 丁迪蒙 著『学説上海話』上海科技文献出版社、2015年1月第2版
 宮田一郎 編著『上海語常用同音字典』光生館出版、昭和63年9月10日初版発行

【参考文献】

- 張惠苑 編集『張愛玲年譜』天津人民出版社、2014年1月
 余斌 著『張愛玲伝』广西師範大学出版社、2001年12月第2版
 「張愛玲作品」
 『伝奇増訂本』上海・中国図書雑誌公司出版、民国35年(1946年)11月増訂本初版